

西武地区地域包括支援センター

《運営・処遇方針》

【私たちの使命】

西武地区地域包括支援センターは、法人の理念と基本方針に基づき、また入間市より委託を受けた事業所として、地域の高齢者が認知症や病気等になっても、住み慣れた地域や自宅で暮らし続けることが出来るよう、専門職としてそれぞれの特性を活かしながら、地域になじみ、地域住民と共に西武地区の将来を考えていくことが使命であり、地域包括ケアシステム構築や地域共生社会の実現に向けた取り組みを行います。

【私たちが提供できる価値】

《主任介護支援専門員》

介護保険制度やケアマネジメントの専門職として高齢者の自立支援とは何かを考え、その人らしい人生が送れるよう支援を行います。

また、地域の介護支援専門員のコーチ役として、介護支援専門員が抱える問題把握と問題解決支援により、ケアマネジメントの質の向上を図ります。

その他、地域包括ケアシステム構築におけるハブ役として、地域と事業所等を繋げることが出来るよう、行政、関係機関、地域住民組織等と連携・協働します。

《社会福祉士》

介護支援専門員や地域住民に対し権利擁護に関する研修や講座を開催すると共に、相談がしやすくなるよう、普及・啓発活動を行います。

また、利用者やその家族、介護支援専門員等からの相談により、成年後見制度利用が必要かの見極めを行い、必要時には申立てが適切に行われるよう支援します。

その他、高齢者虐待防止と早期発見に取り組み、相談、発見した場合には、入間市高齢者虐待マニュアルに沿い、関係機関等との連携を図りチームで対応します。

《看護師》

疾病や加齢による変化があっても、人生の主役として地域住民が自身の健康管理に主体的に取り組めるよう働きかけを行います。望む暮らしの場で安心して生活を営めるよう、在宅医療・介護の相談に応じます。

《介護支援専門員》

介護保険サービスを中心とした公的サービスのみならず、民間や住民主体のサービス等の把握に努め、情報提供をしながら在宅生活の継続を利用者やその家族、関係機関等と共に考えます。

《生活支援コーディネーター》

「誰もが暮らしやすい西武地区」を目指し、地域住民と共に生活上の困りごとを解決に導けるよう「住民主体の支え合い組織の充実」と「高齢者が参加して楽しい場所作り」を推進します。そのために行政、関係各機関、地域住民組織等との連携を図ります。

新型コロナウイルス等感染予防の観点から、訪問時はマスク着用・手指消毒実施。訪問については、本人・家族等の意向により訪問以外の方法も検討します。事業所内及び包括車両の定時消毒を1日4回実施の他、職員は毎朝の検温実施し日頃より自らの健康管理に注意します。このことを継続して行うことで、地域住民や関係機関等にも感染予防の重要性を認識してもらうことが出来るようにします。

【年度終了時の展望】

コロナ禍の中、ネット環境を有する有しないに関わらず支援を必要とする地域住民のために、各職員が共通の認識をもち、且つ柔軟な発想の下でコミュニケーションの手段を失わず支援を継続します。また、地域住民が認知症や病気等になっても住み慣れた地域や自宅で、望む暮らしを継続できるよう、関係機関や地域住民等と連携・協働することで、顔の見える関係の先「信用・信頼のできる関係」の構築を目指します。貧困、虐待、キーパーソン不在など、複雑な問題を解決に近づけることが出来るよう、日々努力して参ります。